

科目名	国語総合	指導領域	「読むこと」
単元名	日記と紀行「奥の細道」	教材名	教科書名「第一学習社」 教材名「高峯中学校国語総合」

指導事項	「文学的文章を自分なりに受け止めて、自分の考え方を深めることができる」
単元の目標	「奥の細道」の「旅立ち」「平泉」「立石寺」を読み、近世の俳人の姿を把握させる。 ・俳文の特色や硬質な詩的散文の性質に慣れさせる。 ・発句と詩的散文が呼応するところにあり、一層優れた文学作品になっていることを理解させる。
評価観点と評価規準	「国語への関心、意欲、態度」……自分の経験や問題意識に基づき、鑑賞内容について対象化している。 「読む能力」……必要な情報が何かを明確にし、中心語句に気を付けて要旨をとらえている。 「言語についての知識・理解・技能」……資料・図表を解釈し、内容理解のために正確に役立てている。

年間指導計画における位置付け	近世俳諧紀行文に対する基礎的知識を確立し、俳人の抱いた情感を理解させる。
----------------	--------------------------------------

単元の指導計画	1 時間目……芭蕉と「奥の細道」についての概説「旅立ち」第一段 2 時間目……「旅立ち」第一・二段 3 時間目……「平泉」(本時) 4 時間目……「立石寺」
---------	---

本時の目標	・時の流れと人の営みの関係についての芭蕉の認識を読み取り、理解を深める。 ・郷里の文化財についての認識を高めさせる。
-------	---

備考	本時の学習指導計画			評価の規準と評価方法	
	まとめ	展開	導入		
	<p>本時の確認</p> <p>・簡単に内容をまとめる。</p> <p>・「邯鄲」炊の夢「と杜甫」春望「について調べて来るよう指示する。</p> <p>・次時は課題確認の後で「立石寺」をやるようにする。</p>	<p>内容理解</p> <p>奥州藤原三代について概説する。</p> <p>平泉各所の様子と現在を比較させる。</p> <p>「功名一時のくわむひとなむ」「思ひれる芭蕉の感懐」について考察させる。</p> <p>光堂についての記述を確認する。</p> <p>「四面新たに囲みて」に関わる事実関係を確認させる。</p> <p>「五月雨の～」の句を鑑賞させ、「夏草や」の句を比較させる。</p>	<p>前時の確認</p> <p>・前時の内容を確認させる。</p> <p>・課題を確認する。</p> <p>・本時の目標を設定する。</p> <p>・平泉について既知の者「思い出させる。</p> <p>・全員で音読させる。→指導者も同時に読み、誤りを気付かせる。</p>	<p>学習者</p> <p>・ノートを活用し、前時の内容を確認する。</p> <p>・書いてくることになった平泉の略図をスライドの図と比較・確認する。</p> <p>・平泉についての自らの記憶を確認する。</p> <p>・全員で音読する。</p> <p>・簡単な系図を見て確認作業をする。</p> <p>・平泉各所をスライドで確認し、本文から受けるイメージとの一致と差異について認識する。</p> <p>・「義母」が誰を指すか、読み取る。</p> <p>・「夏草や」の句を鑑賞する。</p> <p>・「卯の花」の句を鑑賞する。</p> <p>・経堂・光堂について、スライドで確認する。</p> <p>・助動詞「へき」の意味を確認し、文脈上どう扱われているか見極める。</p> <p>・覆堂の役割について理解する。</p>	<p>評価の規準と評価方法</p> <p>・略図は正確か。相互評価</p> <p>・声を出して呼んでいるか。</p> <p>観察</p> <p>・各自なりの感興を抱くことができたか。</p> <p>観察</p> <p>「懐石の情」という抽象概念を理解できたか。</p> <p>観察 ノート、ワークブック</p>
	<p>本時の確認</p> <p>・「五月雨の～」の句を鑑賞させ、「夏草や」の句を比較させる。</p> <p>・「邯鄲」炊の夢「と杜甫」春望「について調べて来るよう指示する。</p> <p>・次時は課題確認の後で「立石寺」をやるようにする。</p>	<p>展開</p> <p>奥州藤原三代について概説する。</p> <p>平泉各所の様子と現在を比較させる。</p> <p>「功名一時のくわむひとなむ」「思ひれる芭蕉の感懐」について考察させる。</p> <p>光堂についての記述を確認する。</p> <p>「四面新たに囲みて」に関わる事実関係を確認させる。</p> <p>「五月雨の～」の句を鑑賞させ、「夏草や」の句を比較させる。</p>	<p>導入</p> <p>前時の確認</p> <p>・前時の内容を確認させる。</p> <p>・課題を確認する。</p> <p>・本時の目標を設定する。</p> <p>・平泉について既知の者「思い出させる。</p> <p>・全員で音読させる。→指導者も同時に読み、誤りを気付かせる。</p>	<p>学習者</p> <p>・ノートを活用し、前時の内容を確認する。</p> <p>・書いてくることになった平泉の略図をスライドの図と比較・確認する。</p> <p>・平泉についての自らの記憶を確認する。</p> <p>・全員で音読する。</p> <p>・簡単な系図を見て確認作業をする。</p> <p>・平泉各所をスライドで確認し、本文から受けるイメージとの一致と差異について認識する。</p> <p>・「義母」が誰を指すか、読み取る。</p> <p>・「夏草や」の句を鑑賞する。</p> <p>・「卯の花」の句を鑑賞する。</p> <p>・経堂・光堂について、スライドで確認する。</p> <p>・助動詞「へき」の意味を確認し、文脈上どう扱われているか見極める。</p> <p>・覆堂の役割について理解する。</p>	<p>評価の規準と評価方法</p> <p>・略図は正確か。相互評価</p> <p>・声を出して呼んでいるか。</p> <p>観察</p> <p>・各自なりの感興を抱くことができたか。</p> <p>観察</p> <p>「懐石の情」という抽象概念を理解できたか。</p> <p>観察 ノート、ワークブック</p>